

国内クレジット認証委員会御中

審査結果概要書

平成21年7月3日

審査機関名 SGSジャパン株式会社

1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	A重油ボイラからバイオマスボイラへの更新及びA重油ボイラの更新プロジェクト	
排出削減事業者名	株式会社ホテルリゾート下電	
排出削減共同実施事業者名	三菱商事株式会社	
事業実施場所	ゆのごう美春閣 (岡山県美作市中山奥湯郷)	
事業の概要	A重油ボイラ2台を、木質バイオマスボイラ及び高効率A重油ボイラへ更新することによって、CO ₂ 排出量の削減を図るものである。 A重油ボイラを、木質バイオマスボイラへ更新することによって、カーボンニュートラルが適用されるため、CO ₂ 排出量が削減できる。	
排出削減量の計画	664 tCO ₂ /年 (事業実施期間合計 3,039 tCO ₂)	
国内クレジット 認証期間	開始日	2008年9月8日
	終了予定日	2013年3月31日
排出削減方法論	方法論番号 001 ボイラの更新	

2. 審査結果

本事業は、排出削減事業の要件に適合している

3. 実施した審査手続の概要

審査手続により、以下の排出削減事業の認証の要件の妥当性を確認している。

要件	審査手続
日本国内で実施されること	<p>事業計画が日本国内で実施されていることを、事業サイトを訪問して確認した。</p> <p>排出削減事業実施場所：ゆのこう美春閣：岡山県美作市中山奥湯郷</p>
追加性を有すること	<ol style="list-style-type: none"> 1) 本事業は、法的義務等の遵守のために計画されたものではなく、CO2 排出量の削減を目的として実施されたことを、関係者への質問等により確認した。 2) 排出削減事業を実施せず、設備更新を行わない場合、既存設備を継続して利用できることを、現地において機器のメンテナンス記録などで確認している。また、既存設備1台をバックアップ用に残し、適宜運転を継続していることも確認している。 3) 排出削減事業の投資回収年数は12.8年である。投資回収年数計算の根拠データについて、質問及び検算、関連証憑との突合により正確性を確認している。 4) 株式会社ホテルリゾート下電は、環境への貢献に熱心に取り組んでいる。国内クレジット制度の活用により、大きなCSR効果が得られる見込みであることが事業実施の一因となっている。
自主行動計画に参加していない者により行われること	<p>排出削減事業者及び共同実施者へのインタビューにより、当事業者が自主行動計画制度に入っていないことを確認している。</p> <p>また日本ホテル協会、国際観光旅館連盟及び日本観光旅館連盟のホームページより、「ゆのこう美春閣」が、前記団体に加盟していないことを確認している。</p>
排出削減方法論に基づいて実施されること	<ol style="list-style-type: none"> 1) 本排出削減事業は、承認済排出削減方法論001に基づき排出削減量を計算しており、また、方法論の適用条件を満たしていることを確認している。 <p>適用条件1については、既存ボイラ並びに新設ボイラ(木質バイオ燃料、高効率型A重油燃料)の機器仕様書(カタログ)を参照し、高効率の空調設備に更新されたことを確</p>

	<p>認している。</p> <p>適用条件 2 については、既存ボイラ 2 台の過去の点検記録、及び、バックアップ用として現在も 1 台が継続的に使用されていることを現場にて確認している。また既存設備の導入時期が、1991 年であり、共に耐用年数の著しい超過に当たらない。</p> <p>適用条件 3 については、事業実施前及び実施後のボイラで精算した蒸気が、継続的に自家消費されている状況であること、今後も継続することを、現地視察及びヒヤリングによって確認している。</p> <p>2) その他、バウンダリの設定、ベースラインの設定、リーケージの特定、排出削減量、モニタリング方法が適切であることについて、それぞれ質問と関連証憑により確認している。</p> <p>特にリーケージについては、木質バイオマス(ペレット)の輸送が考えられるが、当該排出量を確認した結果、排出削減量の 5%未満であることを確認した。</p> <p>また燃料となるペレットについては、製材所等における木皮を除いた端材(即ち、未利用の木材)から製造されているものであることを確認した。</p>
--	---

上記の詳細については、別紙「排出削減事業の要件についての確認事項一覧」を参照すること。

4. 特記事項

投資回収年数については、補助金を除いた純投資額をもとに算出している。

以上